

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第27期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社プラザクリエイト
【英訳名】	PLAZA CREATE CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大島 康 広
【本店の所在の場所】	東京都中央区晴海一丁目8番10号
【電話番号】	03（3532）8800（代）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 大橋 正 信
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区晴海一丁目8番10号
【電話番号】	03（3532）8800（代）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 大橋 正 信
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第26期 第2四半期 連結累計期間	第27期 第2四半期 連結累計期間	第26期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	8,212,788	8,218,849	18,633,267
経常利益又は経常損失 () (千円)	565,906	312,148	310,003
当期純利益又は四半期純損失 () (千円)	612,565	313,948	179,693
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	611,774	296,410	202,303
純資産額 (千円)	2,143,162	2,599,086	2,957,240
総資産額 (千円)	9,546,680	9,757,138	10,370,721
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額 (円)	158.61	82.05	46.53
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	22.4	26.6	28.5
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	74,075	178,064	1,291,011
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	110,662	32,183	72,316
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	418,692	22,585	796,959
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	983,648	1,701,760	1,934,071

回次	第26期 第2四半期 連結会計期間	第27期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額 (円)	60.64	46.13

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第26期及び第27期の第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第26期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当第2四半期連結累計期間において、株式会社プラザクリエイトキャリアは清算しました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融施策を背景として企業業績が回復基調で推移いたしました。個人消費に関しましても、景気回復への期待感から回復の兆しが見えてまいりました。

このような状況の中、当社グループは「2013チェンジ」をスローガンに掲げ、収益構造の改革と徹底した経費削減を推進し、経営の効率化に取り組んでおります。

イメージング事業においては、当社の創立25周年記念の一環として、全国で展開する「パレットプラザ」「55ステーション」の商品・サービスを拡充するクーポンブック『THE TIME SALE（ザ・タイムセール）』のサービスを開始いたしました。店舗スペースでは扱えなかったアイテムも多く搭載し、25周年の感謝を込めて、アイテム別に期間限定・特別価格のクーポンを付けました。

モバイル事業においては、新機種のスマートフォンなどを中心に販売台数が順調に推移いたしました。また、iPhone 5S及びiPhone 5Cが平成25年9月に発売開始となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、82億18百万円（前年同期比0.07%増）となりました。利益面では、継続してグループ企業内再編など店舗運営体制の効率化及び経費圧縮の効果により販売費及び一般管理費が減少し、営業損失3億25百万円（前年同期：営業損失5億69百万円）、経常損失3億12百万円（前年同期：経常損失5億65百万円）、四半期純損失3億13百万円（前年同期：四半期純損失6億12百万円）となりました。

なお、前連結会計年度までイメージング事業において、デジタルプリントサービスとスマートフォンなど通信端末を取り扱う複合ショップ等を展開しておりましたが、効率的な業務運営推進の観点から、第1四半期連結会計期間より複合ショップ等を分離し、通信端末を取り扱う店舗をモバイル事業に移管しております。セグメントの影響については、「第4 経理の状況 セグメント情報等」に記載しております。

以上の結果、セグメント別では、イメージング事業は、売上高39億82百万円（前年同期比29.1%減）、セグメント損益は2億94百万円の損失（前年同期：4億22百万円の損失）となりました。

モバイル事業は、売上高39億89百万円（前年同期比74.0%増）、セグメント損益は17百万円の利益（前年同期：96百万円の損失）となりました。

その他の事業は、売上高2億47百万円（前年同期比18.5%減）、セグメント損益は35百万円の損失（前年同期：46百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の額は97億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億13百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が2億33百万円減少、受取手形及び売掛金が1億79百万円減少及び投資その他の資産「その他」に含む投資有価証券が1億6百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の額は71億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億55百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1億29百万円減少し、短期借入金が1億95百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の額は25億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億58百万円の減少となりました。主な要因は、配当金の支払額38百万円などにより利益剰余金が3億52百万円減少したことなどによるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の28.5%から26.6%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億32百万円減少し、17億1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が1億3百万円増加し1億78百万円の支出（前年同期比140.4%増）となりました。主な要因は、たな卸資産の増減額の増加2億1百万円などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が1億42百万円増加し32百万円の支出（前年同期比1億10百万円の収入）となりました。主な要因は、定期預金の取崩額の減少1億99百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が3億96百万円減少し22百万円の支出（前年同期比94.6%減）となりました。主な要因は、短期借入金の増減額の減少3億52百万円などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動および主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変動はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,612,086	4,612,086	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は、100株 であります。
計	4,612,086	4,612,086	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月30日	-	4,612,086	917,880	100,000	-	265,346

(注) 平成25年6月27日開催の定時株主総会決議により、平成25年7月30日をもって、資本金の額を917,880千円減少させ、その他資本剰余金に振り替えております。

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)中部写真	東京都目黒区三田 1 - 4 - 3	1,868	40.51
富士フイルム(株)	東京都港区西麻布 2 - 26 - 30	753	16.32
(株)みずほ銀行(常任代理人 資産管理 サービス信託銀行(株))	東京都千代田区丸の内 1 - 3 - 3 (東京 都中央区晴海 1 - 8 - 12)	190	4.12
プラザクリエイト従業員持株会	東京都中央区晴海一丁目 8 番10号	58	1.27
大島 康広	東京都目黒区	58	1.26
(株)浅沼商会	東京都中央区日本橋 1 - 2 - 8	27	0.58
松田産業(株)	東京都新宿区西新宿 1 - 26 - 2	26	0.58
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内 1 - 6 - 6	26	0.56
中津紙工(株)	岐阜県中津川市津島町 3 - 24	20	0.43
楽天証券(株)	東京都品川区東品川 4 - 12 - 3	18	0.39
計	-	3,047	66.06

(注) 1. 大島康広氏の所有株式数は、役員持株会を通じて所有している持分を含めた実質所有株式数を記載しております。

2. 上記のほか自己株式が800千株あります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 800,100	-	-
完全議決権株式(その他) (注1)	普通株式 3,809,900	38,099	1 単元(100株)未満の株式
単元未満株式(注2)	普通株式 2,086	-	-
発行済株式総数	4,612,086	-	-
総株主の議決権	-	38,099	-

(注)1. 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義が200株(議決権の数2個)含まれておりません。

2. 「単元未満株式」の欄には、当社所有自己株式67株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)プラザクリエイト	東京都中央区晴海一丁目8番10号	800,100	-	800,100	17.34
計	-	800,100	-	800,100	17.34

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,235,071	2,001,760
受取手形及び売掛金	1,192,478	1,012,864
商品及び製品	843,159	889,489
原材料及び貯蔵品	155,535	202,307
その他	757,958	662,801
貸倒引当金	417	357
流動資産合計	5,183,785	4,768,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,302,220	2,264,673
減価償却累計額	1,554,642	1,513,054
建物及び構築物(純額)	747,578	751,619
機械装置及び運搬具	4,755,910	4,626,104
減価償却累計額	4,468,723	4,402,777
機械装置及び運搬具(純額)	287,186	223,327
土地	1,364,215	1,364,215
その他	1,471,212	1,441,454
減価償却累計額	1,330,968	1,266,276
その他(純額)	140,244	175,178
有形固定資産合計	2,539,224	2,514,340
無形固定資産		
その他	413,746	404,270
無形固定資産合計	413,746	404,270
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,837,358	1,796,321
その他	404,476	277,440
貸倒引当金	16,451	15,115
投資その他の資産合計	2,225,383	2,058,646
固定資産合計	5,178,354	4,977,258
繰延資産		
社債発行費	8,581	11,012
繰延資産合計	8,581	11,012
資産合計	10,370,721	9,757,138

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,013,724	884,229
短期借入金	2,380,934	2,185,360
1年内償還予定の社債	100,000	160,000
未払法人税等	26,109	13,524
賞与引当金	80,708	80,696
その他	916,592	762,413
流動負債合計	4,518,068	4,086,224
固定負債		
社債	220,000	410,000
長期借入金	1,937,083	1,958,640
退職給付引当金	148,008	138,166
長期預り保証金	358,481	327,095
その他	231,839	237,925
固定負債合計	2,895,413	3,071,827
負債合計	7,413,481	7,158,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,017,880	100,000
資本剰余金	265,346	1,183,226
利益剰余金	2,125,655	1,773,087
自己株式	454,291	477,414
株主資本合計	2,954,590	2,578,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,650	20,187
その他の包括利益累計額合計	2,650	20,187
純資産合計	2,957,240	2,599,086
負債純資産合計	10,370,721	9,757,138

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	8,212,788	8,218,849
売上原価	4,724,327	4,920,296
売上総利益	3,488,461	3,298,553
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	560,693	449,918
給料手当及び賞与	657,382	686,615
賞与引当金繰入額	57,136	79,913
雑給	693,728	638,703
賃借料	607,427	595,891
貸倒引当金繰入額	1,474	-
その他	1,480,437	1,173,219
販売費及び一般管理費合計	4,058,281	3,624,262
営業損失()	569,819	325,708
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,779	3,276
協賛金収入	39,340	3,957
その他	31,052	48,455
営業外収益合計	73,172	55,688
営業外費用		
支払利息	44,725	38,457
その他	24,533	3,670
営業外費用合計	69,259	42,128
経常損失()	565,906	312,148
特別利益		
固定資産売却益	14,767	18,701
投資有価証券売却益	-	31,500
特別利益合計	14,767	50,201
特別損失		
減損損失	30,901	42,585
店舗閉鎖損失	20,946	8,061
投資有価証券評価損	-	2,168
特別損失合計	51,847	52,814
税金等調整前四半期純損失()	602,986	314,760
法人税、住民税及び事業税	15,382	13,576
法人税等調整額	5,803	14,389
法人税等合計	9,578	812
少数株主損益調整前四半期純損失()	612,565	313,948
四半期純損失()	612,565	313,948

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	612,565	313,948
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	791	17,537
その他の包括利益合計	791	17,537
四半期包括利益	611,774	296,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	611,774	296,410
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	602,986	314,760
減価償却費	356,012	238,647
減損損失	30,901	42,585
のれん償却額	1,226	549
貸倒引当金の増減額(は減少)	216	1,396
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,423	9,842
受取利息及び受取配当金	2,779	3,276
支払利息	44,725	38,457
固定資産売却損益(は益)	14,767	18,701
投資有価証券売却及び評価損益(は益)	-	29,331
売上債権の増減額(は増加)	200,084	181,042
たな卸資産の増減額(は増加)	108,882	93,102
仕入債務の増減額(は減少)	112,964	129,494
その他	7,016	20,488
小計	2,322	119,113
利息及び配当金の受取額	3,457	3,270
利息の支払額	44,940	37,439
法人税等の支払額	30,269	24,781
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,075	178,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	200,000	1,000
有形固定資産の取得による支出	197,440	190,746
有形固定資産の売却による収入	26,769	39,225
無形固定資産の取得による支出	94,949	78,621
投資有価証券の取得による支出	1,954	-
投資有価証券の売却による収入	40,962	168,468
貸付金の回収による収入	101	-
敷金及び保証金の回収による収入	315,951	100,181
その他	178,777	71,691
投資活動によるキャッシュ・フロー	110,662	32,183
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	154,002	198,000
長期借入れによる収入	400,000	1,220,000
長期借入金の返済による支出	916,810	1,196,017
社債の発行による収入	-	296,225
社債の償還による支出	50,000	50,000
自己株式の取得による支出	-	23,122
配当金の支払額	48	38,346
リース債務の返済による支出	16,283	23,753
セール・アンド・リースバックによる収入	57,219	-
その他	46,772	9,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	418,692	22,585
現金及び現金同等物に係る換算差額	680	522
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	382,786	232,310
現金及び現金同等物の期首残高	1,366,435	1,934,071
現金及び現金同等物の四半期末残高	983,648	1,701,760

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社プラザクリエイトキャリアは清算したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループでは、第3四半期連結会計期間において、主として年賀ポストカード等のプリント製品の需要が集中して発生するため、第3四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べ著しく高くなる傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年9月30日現在)	1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成25年9月30日現在)
現金及び預金 1,366,648千円	現金及び預金 2,001,760千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 383,000	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 300,000
現金及び現金同等物 983,648	現金及び現金同等物 1,701,760

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	38,619	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動

当社は、平成25年5月17日開催の取締役会において、平成25年6月27日開催の第26回定時株主総会に、資本金の額の減少について付議することを決議し、同定時株主総会にて承認可決され、平成25年7月30日付でその効力が発生しております。これにより資本金が917,880千円減少し、その他資本剰余金が同額増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	イメージ ング	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,616,521	2,292,880	7,909,401	303,386	8,212,788	-	8,212,788
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,298	-	18,298	121	18,419	18,419	-
計	5,634,819	2,292,880	7,927,700	303,508	8,231,208	18,419	8,212,788
セグメント利益又は損 失()	422,501	96,019	518,521	46,706	565,227	678	565,906

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常損失()と調整を行っております。
4. イメージング事業において、デジタルプリントサービスとスマートフォンなど通信端末を取り扱う複合ショップを展開しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において30,249千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	イメージ ング	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,982,143	3,989,363	7,971,506	247,342	8,218,849	-	8,218,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,740	-	23,740	-	23,740	23,740	-
計	4,005,883	3,989,363	7,995,247	247,342	8,242,590	23,740	8,218,849
セグメント利益又は損 失()	294,969	17,707	277,262	35,252	312,514	366	312,148

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常損失()と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度までイメージング事業において、デジタルプリントサービスとスマートフォンなど通信端末を取り扱う複合ショップ等を展開していましたが、効率的な業務運営推進の観点から、第1四半期連結会計期間より複合ショップ等を分離し、通信端末を取り扱う店舗をモバイル事業に移管しております。前第2四半期連結累計期間のイメージング事業における外部顧客への売上高に含まれる複合ショップ等の携帯端末売上は1,104,440千円であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において42,545千円であります。

(金融商品関係)

著しい変動がないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

著しい変動がないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額(円)	158.61	82.05
(算定上の基礎)		
四半期純損失(千円)	612,565	313,948
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失(千円)	612,565	313,948
普通株式の期中平均株式数(株)	3,862,003	3,826,411

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

株式会社プラザクリエイト
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 津 田 良 洋

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 井 勇 治

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社プラザクリエイトの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社プラザクリエイト及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。